

スポーツ×医学の  
チカラで、  
社会を変えていく。



# JASMS

順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構

# HPTRC

順天堂大学ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ拠点

## 合同シンポジウム2024

## 報告書

# 開催案内

JASMS

(順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構)

HPTRC

(順天堂大学ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ拠点)

## 合同シンポジウム2024

期日:2024年11月30日(土)

順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス 7号館

13階 有山登メモリアルホール(ウェビナー配信あり)

対象/本学教職員・学生、学外の方の参加も可

参加費/無料 会場定員/200名

事前申込/原則必要(学外の方は必須)

委託事業/スポーツ庁「令和6年度 先端的スポーツ医・科学研究推進事業」

※第2・3部のみ

協力/日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター、筑波大学 体育系、立命館大学 ※第2・3部のみ



JASMS  
順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構  
HPTRC  
順天堂大学ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ拠点  
合同シンポジウム2024



スポーツ×医学のチカラで、社会を変えていく。

2024年11月30日(土)

13:30~16:30

順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス 7号館

13階 有山登メモリアルホール (ウェビナー配信あり)

16:45~ポスターセッション / 17:30~懇親会

対象/本学教職員・学生、学外の方の参加も可  
参加費/無料 会場定員/200名  
事前申込/原則必要(学外の方は必須)

委託事業/スポーツ庁「令和6年度 先端的スポーツ医・科学研究推進事業」※第2・3部のみ

協力/日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター、筑波大学 体育系、立命館大学 ※第2・3部のみ

プログラム (オーラルセッション)

司会: 福島 千里 (スポーツ健康科学部)

開会ごあいさつ 学長 代田 浩之  
JASMSの活動について 機構長 鈴木 大地 (スポーツ健康科学部)

【第1部】「連携」が生み出す新たな成果 座長: 副機構長 北出 真理 (医学部産婦人科学)  
スポーツイベントの満足度を高める参加型改善(スポーツPAOT)の実践報告 山田 泰行 (スポーツ健康科学部)  
日本人の若い低体重女性の多面的な背景検証: ダイエット経験に着目して 室伏 由佳 (スポーツ健康科学部)

【第2部】ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ拠点 (HPTRC) の活動報告  
HPTRC設置の意義と期待 拠点長 和氣 秀文 (スポーツ健康科学部)  
アスリート脳の機能解析とトレーニング技術の開発 山中 航 (スポーツ健康科学部)  
腸内細菌叢タイプ別に持久力向上に有効な物質の特定と食品の探索 鈴木 良雄 (スポーツ健康科学部)  
厚底シューズが身体に及ぼす影響と障害予防に関する研究 高澤 祐治 (医学部スポーツ医学)  
AI体操採点支援システムを応用した次世代型トレーニングの開発 原田 睦巳 (スポーツ健康科学部)

【第3部】クロストーク「ハイパフォーマンス研究はトップアスリートに何をさせるか?」  
アスリートゲスト 萱 和磨 (セントラルスポーツ所属/パリオリンピック体操男子団体 金メダル/2024年博士後期課程修了)  
村竹 ラシッド (JAL所属/パリオリンピック陸上男子110mハードル 5位入賞/2024年卒業)

本学研究者 山崎 一彦 (スポーツ健康科学部)  
柳谷 登志雄 (スポーツ健康科学部)  
水口 暢章 (JASMS)

ファシリテーター 機構長/副拠点長 鈴木 大地

閉会ごあいさつ 副機構長 北出 真理



萱 和磨 選手 村竹 ラシッド 選手

参加登録 (ウェビナー視聴含む) | 受付締切日/2024年11月29日(金)

※ 懇親会に参加をご希望の方は、11月22日(金)までに必ず登録して下さい。

※ 学外の方は必ず事前に登録して下さい。 ※ 定員に達した時点で会場参加を締め切ります。

参加登録フォーム

<https://forms.gle/dzWdn8hancMjd38V6>



主催/順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構 (JASMS)  
順天堂大学ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ拠点 (HPTRC)

お問い合わせ/JASMS事務局  
jasms@juntendo.ac.jp  
03-3813-3111 (内線本郷3870)

# 当日プログラム

13:30～16:30

## オーラルセッション

【第1部】「連携」が生み出す新たな成果

【第2部】ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ拠点(HPTRC)の活動報告

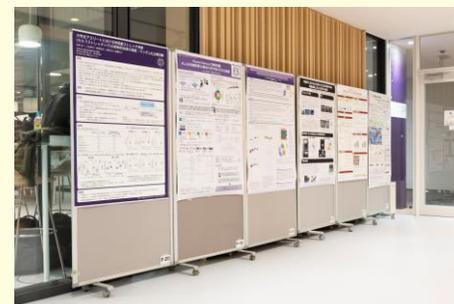
【第3部】クロストーク「ハイパフォーマンス研究はトップアスリートに何を示せるか？」



16:45～17:30 2階食堂にて

## ポスターセッション (22件)

## 懇親会



# 参加者

会場出席者:109名  
ウェビナー参加者:41名  
計 150名

## 【学内】

スポーツ健康科学部

医学部

医療看護学部

保健医療学部

健康データサイエンス学部

薬学部

## 【学外】

スポーツ庁

日本スポーツ振興センター

教育機関

医療機関

企業

プロスポーツチーム

等



# 総合司会

福島 千里 (スポーツ健康科学部 特任助教)

水口 暢章 (スポーツ健康医科学推進機構 特任准教授)



## 開会ご挨拶



学長 代田 浩之

## JASMSの活動について



機構長 鈴木 大地



# オーラルセッション

## 第一部「連携」が生み出す新たな成果

スポーツイベントの満足度を高める参加型改善  
(スポーツPAOT)の実践報告



山田 泰行 (スポーツ健康科学部 准教授)



座長:副機構長 北出 真理  
(大学院医学研究科産婦人科科学 教授)



日本人の若い低体重女性の多面的な背景検証  
ダイエット経験に着目して



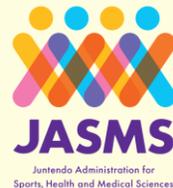
室伏 由佳 (スポーツ健康科学部 先任准教授)

# 第二部 ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ拠点(HPTRC)の活動報告

## HPTRC設置の意義と期待



拠点長 和氣 秀文 (大学院スポーツ健康科学研究科 教授)



## アスリート脳の機能解析とトレーニング技術の開発



山中 航（大学院スポーツ健康科学研究科 准教授）

## 腸内細菌叢タイプ別に持久力向上に有効な物質の特定と食品の探索



鈴木 良雄（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）



## 厚底シューズが身体に及ぼす影響と 障害予防に関する研究



高澤 祐治（医学部スポーツ医学研究室 先任准教授）

## AI体操採点支援システムを応用した 次世代型トレーニングの開発



原田 睦巳（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）



# 第三部 クロストーク

## 「ハイパフォーマンス研究はトップアスリートに何を示せるか？」

萱 和磨

セントラルスポーツ所属  
パリ2024オリンピック  
体操男子団体金メダル  
2024年度博士後期課程修了



村竹 ラシッド

JAL所属  
パリ2024オリンピック  
陸上男子110mハードル5位  
2024年度卒業



水口 暢章

(スポーツ健康医科学推進機構 特任准教授)(大学院スポーツ健康科学研究科 教授)



柳谷 登志雄



山崎 一彦

(スポーツ健康科学部 教授)



ファシリテーター

鈴木 大地

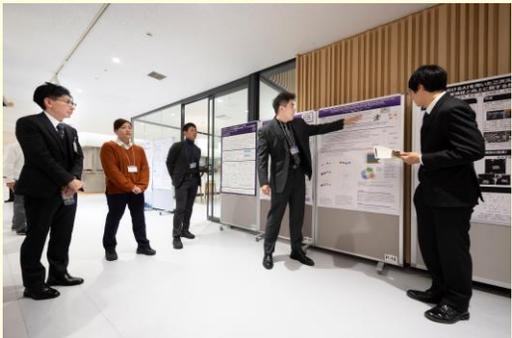
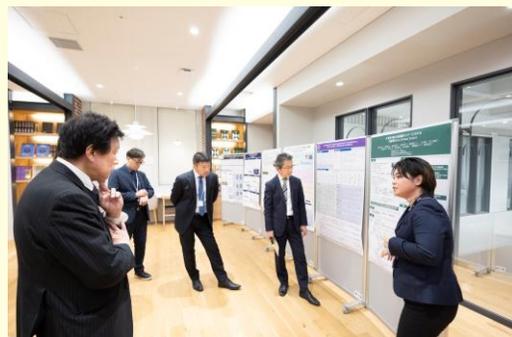
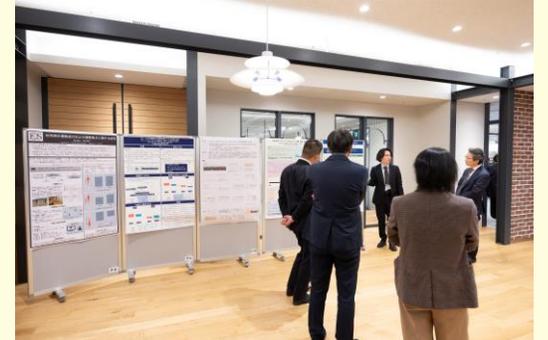
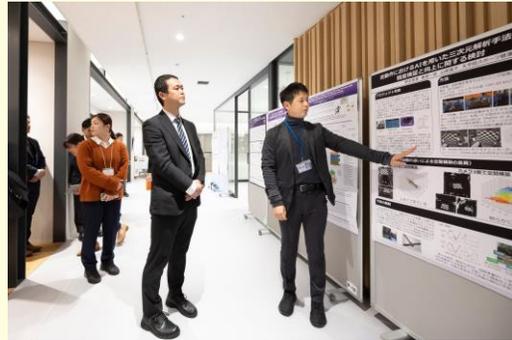
(大学院スポーツ健康科学研究科 教授)



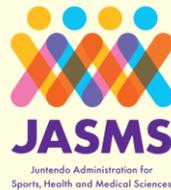


総評 中嶋 耕平氏  
 日本スポーツ振興センター  
 ハイパフォーマンススポーツセンター  
 国立スポーツ科学センター 副所長

閉会ごあいさつ  
 北出 真理  
 (大学院医学研究科産婦人科学 教授)



# ポスターセッション



- P-1 片脚レッグプレスにおけるVelocity Based Trainingの適用
- P-2 体操競技における音響学的特徴 —音カメラによるパフォーマンス分析—
- P-3 体操競技におけるAI体操採点支援システムの精度評価と競技への応用に関して
- P-4 高齢野球競技者における腱板断裂の有病率と肩関節痛の割合および関連因子の検討
- P-5 Training load (運動負荷) に着目した新たな外傷・障害発生リスク予測指標の開発  
—サッカーにおける外傷・障害予防戦略—
- P-6 スポーツ・運動実践の無関心層を対象とした動機づけ情報の探索および評価
- P-7 愛媛マンダリンパイレーツへのシーズンを通じたコンディショニングサポート
- P-8 幼児期の運動遊びおよび運動能力に関する研究
- P-9 スポーツの早期専門化が身体的成長に与える影響の検討『エリートジュニア選手と一般小・中学生の比較』
- P-10 アスリートのパフォーマンス向上に向けた腸内環境層別化研究
- P-11 日本代表デフサッカー選手におけるスポーツ外傷・障害の発生状況
- P-12 肢体不自由者のスポーツ実施における障壁に関する研究——内的社会障壁に着目して
- P-13 大学男子陸上長距離ランナーにおける大腿骨Bone stress Injury
- P-14 ハムストリング肉ばなれ後に生じる心理的要素の定量化に向けて
- P-15 成長期野球選手の障害予防『PSE Challenge-守って鍛えて上手くなる』
- P-16 若年アスリートの相対的エネルギー不足に関する探索的研究
- P-17 走動作におけるAIの三次元解析法に関する精度の検証と向上方法の検討
- P-18 Distinct Gut Microbiota Profiles in Children: Exploring Diversity, Structure, and Functional Links with Physical Fitness and Physical Activity
- P-19 Physical Literacyと身体活動：大人の行動変容と親のPLが子供に与える影響
- P-20 大学生アスリートにおける呼吸筋ストレッチ体操（セルフストレッチング）の即時的効果の検討：ランダム化比較試験
- P-21 3000m障害走における日本記録保持者のハードリング動作の特徴
- P-22 外的および内的な運動開始のタイミングと心周期の関係～ベストスタートパフォーマンス発揮に向けた基礎研究

青柳 壮志（スポーツ健康医科学推進機構 博士研究員）  
浅野 恵子（医学部一般教育外国語研究室 教授）  
石川 美里（大学院スポーツ健康科学研究科 博士後期課程1年）  
井上 拓海（大学院医学研究科 博士課程3年）

河瀬 麻希（スポーツ健康科学部 協力研究員）  
川田 裕次郎（スポーツ健康科学部 准教授）  
窪田 敦之（スポーツ健康科学部 先任准教授）  
黒川 優介（スポーツ健康医科学推進機構 研究支援者）  
西郷 吉柁（大学院医学研究科 博士課程3年）  
鈴木 良雄（大学院スポーツ健康科学研究科 教授）

染谷 由希（スポーツ健康科学部 准教授）  
高田 侑子（大学院スポーツ健康科学研究科 博士後期課程3年）  
谷川 あおい（大学院スポーツ健康科学研究科 博士後期課程3年）  
富樫 維親（大学院医学研究科 博士課程3年）  
中村 絵美（保健医療学部 助教）  
奈良岡 佑南（大学院医学研究科難病の診断と治療研究センター 博士研究員）  
野呂 啓晃（大学院スポーツ健康科学研究科 非常勤講師）

潘 祥（大学院スポーツ健康科学研究科 博士後期課程1年）  
松永 美咲（大学院スポーツ健康科学研究科 博士後期課程3年）

松野 圭（医学部呼吸器内科学講座（医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター） 准教授）

ポスターセッション



スポーツ×医学の  
チカラで、  
社会を変えていく。



# JASMS

順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構

# HPTRC

順天堂大学ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ拠点

## 合同シンポジウム2024

## 報告書